



たてくるジオパーク

だより 第41号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー1 11ビル1階

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

f https://facebook.com/tatekuro

令和3年度立山黒部ジオパーク定時社員総会より

遅くなりましたが、6月に行われた今年度の総会の様子をお伝えします。6月5日、立山黒部ジオパーク協会の定時社員総会が上市町文化研修センターで開催されました。同総会は立山黒部ジオパークエリアの県東部9市町村で順次開催しており、今年度は上市町を開催地としました。

総会では、立山黒部ジオパークが日本ジオパークとして再認定されたこと、令和2年度の活動の報告、および令和3年度の活動計画・予算、役員を選任について決議がなされました。中尾哲雄会長からは「活動には観光もあるけれども、ふるさとを学ぶ事によってふるさとを愛する子供たちの心を醸成することが大事だと思っている。ジオパークは、あまり評価されないようだが、私は世界を目指すことだけが目的ではないと思う。民間がやっていることもあり、地域に根差したジオパーク活動でふるさとを愛を育てていくことを誇りにしたい。」との話がありました。

令和3年度の活動についてはコロナ禍の推移も見つつ、食事を楽しみながら講師から提供された話題や地域のことについて語り合うジオカフェ活動の継続と拡大や、ツアーの充実と新規ガイドの採用を目指すガイド養成講座を行うなど、事業を充実していくことが決まりました。



<講演>「立山黒部ジオパーク協会と大学の連携—富山大学からの提案

富山大学 都市デザイン学部長 渡邊 了 氏

ジオパークの宝物は自然や文化を理解すること、可視化すること、教育の場で教えることなどたくさんある。宝物をどう理解するか、宝物をどう伝えるかを大学と共同研究を行うことで、受け売りでない理解を伝えたい。

ジオ、エコなどいろいろなテーマがあってよい。いろいろな学部でサポートできると思う。ジオパークの面白いところは人とかかわりがあるところ。文化や歴史など人とかかわっていくことによって、その人独自の新しい視点で研究や活動を生み出していける。一番面白いのは、一緒にやることで、教育とかいろいろな場で伝えていけると良い。実りある連携のために、仕組みを作っていきたい。関係しそうな教員を紹介したりして、まず一緒にやりませんかという提案をしたい。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



ジオパーク協会 部会からの「令和3年度の活動計画」

<定時社員総会を終えて>

富山大学の渡邊学部長の講演を聴き、連携をとって活動していくことの力強さを感じました。再認定において指摘された課題も多く、新たなスタートに立った感じがしますが、立山黒部ジオパークらしい「ジオや自然を通して、人とかわり、人を育てる」という個性を出して活動していけるといいと思います。

現在コロナ禍でたくさんの方に集まって頂いたり、屋外に出て活動したりすることがなかなか困難な状況下です。その中でも、企画部会では富山大学・富山県防災士会と共に地域住民への防災・減災普及についてのシンポジウムやジオカフェの実施、研究教育部会では新しいサイトの調査や出前講座の充実、広報啓発部会ではジオパーク写真展、ガイド部会やツーリズム部会ではガイドのスキルアップと養成、保全部会ではサイトの保護活用事業の推進と、それぞれの計画にそって取り組んでいるところです。

「立山黒部ジオパーク」という名前をもっと地域の皆さんや子どもたちに知ってもらうこと、活動を楽しんでもらいながらふるさと富山の持続可能な地域づくりを考えていける事業展開を行っていきます。



<黒部市小学生黒部峡谷トロッコ電車・ジオパーク学習>

研究教育部会より

総会では、國香正稔氏が新しい研究教育部会長として承認されました。國香部会長を紹介します。

<ジオの願い> 新研究教育部会長 國香正稔

名古屋の下坂康哉さんという鉱物の専門家が、ご自分の鉱物コレクションの一部を母校の黒部市立石田小学校へ寄贈された。ぼくは今、黒部市吉田科学館でそのリストを作っている。約半分で、500個。地学を学びはじめて、47年になるが、実物は初めてという貴重なものも多い。子ども達に、石にもいろいろあり、ひとつひとつに名前が



あることを知ってほしい、手にとり、触れてほしい、という下坂さんの願いが込められている。ひとつの石との出会いで、子どもの世界観が変わるかもしれない。こんな願いもジオの願いのひとつだと感じながら取り組んでいる。

JGN 日本ジオパークネットワークの活動紹介

今 JGN では、運営会議の基に全国のネットワークを生かした WG(ワーキンググループ) を形成し、多角的な面からジオパーク活動をより活性化していこうと、“地震だねっと” を用いて防災教育に活用を考える「防災 WG」、ユネスコジオパークと連携を取りながら子供たちの交流を図る「国際連携 WG」、ガイドの養成や資質向上を図る「日本ジオツーリズム協会 WG」、コロナ禍でもできるツアー開発を行う「ツアー商品化 WG」、学校教育でジオパークを活用した ESD 教育推進を図る「教育 WG」、他にも地形や地質・生態系などの保護・保全を考える「保全 WG」など活動も様々です。日本各地の有志が参加し、オンラインで会議や研修会を開いて活動を進めています。

第 11 回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会

10月3～5日に第11回日本ジオパーク全国大会が開催されます。

テーマは「今、なぜジオパーク？～国引きの地から持続可能な地域づくりを考える～」です。講演会やポスターセッション、各ジオパークとの情報交換を通して、テーマに迫ります。

中部ブロックパビリオンと「地域内のネットワークづくり」分科会の中で、立山黒部ジオパークは富山市の NPO 法人「まちスポとやま」主催で富山大学と共に参画している、ジオと人の生活の関連を実感できるミニツアー「ブラとやま」の紹介を行う予定です。



日本活断層学会 2021 年度秋季学術大会のお知らせ

10月22日(金)~24日(日)に、日本活断層学会 2021 年度秋季学術大会が富山大学五福キャンパスにおいて開催されます。23日(土)午後に行われるシンポジウムは、今年度の立山黒部ジオパークのシンポジウムを兼ねることになり、一般公開、無料で参加することができます。

日本活断層学会
2021年度秋季学術大会

2021年
日程 **10月22日(金)~24日(日)**
10月22日(金) 一般研究発表
10月23日(土) 一般研究発表、シンポジウム
10月24日(日) 巡検

会場 富山大学五福キャンパス黒田講堂・他 (富山市五福3190)
<https://www.u-toyama.ac.jp/access/campus-access/gofuku/>
※都合により変更となる可能性があります。

シンポジウム
「北陸の活断層と地震防災」

プログラム(予定)
13:30~13:40 趣旨説明
13:40~14:05 北陸の活断層の特徴とその背景 / 石山達也 (東京大学地震研究所)

テーマは「北陸の活断層と地震防災」
災害が少ないと言われる富山県ですが、跡津川断層、呉羽山断層、魚津断層など、活断層は皆さんの周りで密やかに息づいています。

この機会に「活断層」や「防災」について学んでみませんか？皆様のご参加をお待ちしています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催形態がオンライン開催に変更になる可能性もあります。変更の判断は2週間前をめぐりに行い、学会HP等でお知らせします。

大会の詳細については ⇒
大会HPでご確認ください。



<プログラム>

- 13:30~13:40 趣旨説明
- 13:40~14:05 北陸の活断層の特徴とその背景 / 石山達也 (東京大学地震研究所)
- 14:05~14:30 北陸の地震と石川の活断層 / 平松良治 (金沢大学)
- 14:30~14:55 活断層と地域防災 / 小杉邦夫 (NPO 法人富山県防災士会)
- 14:55~15:10 休憩
- 15:10~15:35 小竹貝塚の標高の謎—地球科学から考古学に架橋する試み
/ 川崎一郎 (京都大学名誉教授)
- 15:35~16:00 福井地震と福井平野の活断層—福井地震と平野形成の関りを探る
/ 廣内大助 (信州大学)
- 16:00~16:25 北陸と周辺海域の地震地体孝造と応力場の変遷 / 竹内 章 (富山大学 名誉教授)

*シンポジウムは無料・一般公開で行います。できるだけ公共交通をご利用ください。

富山市民大学講座「立山黒部ジオパークに行く」

ホームページ等でお知らせしていますように、富山市民大学講座「立山黒部ジオパークを知る」が始まりました。学術顧問の竹内章先生による「ジオパーク概論」からスタートし、立山カルデラ砂防博物館や富山科学博物館の学芸員による「大地を造り壊す地震と活断層の姿」「立山氷河と立山カルデラの新湯」「立山黒部ジオパークの火山とその恵みを知る」「立山の植生—地形と多雪のもとで—」の講義が5回目まで行われました。受講者の方々が積極的に質問される様子を、毎回嬉しく思いながら見ています。現在講座はコロナ禍のため休講中ですが、10月以降に再開予定です。立山黒部ジオパークの自然と文化、化石、蜃気楼、海、扇状地などについての講義が予定されています。

直接講義に参加されない方も、講義資料を立山黒部ジオパークのHPからダウンロードできます。

こちらからご覧ください。 ⇒



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



庵谷展望台から見た片路峡 — 神通峡で地球(ジオ)を楽しむ

美しい景観で人々を楽しませてくれる神通峡。特に寺津橋から神一ダムまでの峡谷は「片路峡」と呼ばれ、県内屈指の紅葉スポットとなっています。

神通峡には、手取層群と呼ばれる中生代の地層が分布しています。手取層群は、今から1億年以上前、日本列島が中国大陸の一部であった時代に、大陸やその縁辺で礫や砂などが堆積してできた地層です。

そのため、当時の地球上に生きていた、恐竜やアンモナイトなどの化石が見つかることでも知られています。庵谷峠展望台の近くでは、恐竜時代の扇状地でたまった礫岩をみることができます。また、猪谷地区を流れる神通川の左岸には、砂岩と泥岩が交互に重なっている様子を観察できます。

皆さんも神通峡にお出かけの際には、景色の下に隠れた古の大地の営みに想いを馳せてみてはいかがでしょうか。「歩いて手繰る立山黒部ジオパーク見聞録」P58-61でも神通峡の各所の魅力が詳しく紹介されています。



<展望台から片路峡を見下ろす>

協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介していきます。



オンラインショップ URL <http://shop.unazuki-beer.jp/>

乾杯は宇奈月ビールで！

Unazuki Beer

贈答品も宇奈月ビールで！

宇奈月ビール株式会社 〒938-0861 富山県黒部市宇奈月町下立687

お気軽にお電話下さい 0765-65-2277



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動をしています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。

興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧いただくか、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



株式会社 婦中興業

代表取締役社長 竹内 茂

〒939-2706 富山県富山市婦中町速星478番地
TEL (076)466-2333(代) FAX (076)465-5392
URL fuchukogyo.co.jp

総合建設業

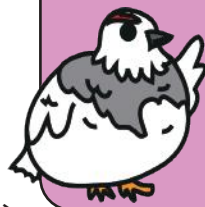
ISO 9001
BUREAU VERITAS
Certification



お知らせ

「まん延防止等重点措置」に対応してジオパークの拠点施設、協力施設などは、ただいま休館中です。また、ジオカフェ、ガイドスキルアップ講座なども延期になっています。再開のお知らせまで、しばらくお待ちください。

会員の皆さんが早く普段の生活の戻り、自然の中でのびのびと生活できますように、家族や友達とたくさんおしゃべりできますように、お互いもうひと踏ん張り感染予防に努めていきましょう！



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

